

2024/2/13
東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(2月5日～2月8日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,337.0	1,339.3	1,322.7	1,328.2	+5.6
JPY/KRW	8.9913	9.0092	8.9308	8.9327	▲0.097
KOSPI	2,612.77	2,629.51	2,562.50	2,616.46	+1.15

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は徐々に上値を切り下げていく展開。2日の米雇用統計が市場予想対比良好な結果だったことから、米金利の上昇とともにドル高推移。週初のドル/ウォンは1,337.0でオープンした。その後は輸出企業のドル売りにじりじりと上値を切り下げ1,330ウォン付近まで下落した。6日には中国当局が株価の下落を受けた支援策や監視強化策を発表。人民元高が進行するにつれ、ウォンも買われた。7日は連休を控えた輸入企業の決済需要から小幅に反発。8日は連休前で動意に乏しい推移となった。結局ドル/ウォンは先週末比+5.6ウォンの1,328.2ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンはレンジ推移を予想。連休明けの為替相場は米CPIの発表を控える中で方向感に乏しい推移となろう。米インフレは引き続き鈍化傾向が示されるとのコンセンサスも、経済指標は概ね堅調に推移し、好調な企業決算から株価も底堅い推移を見せており、早期利下げ期待は後退している。インフレの鈍化は米金利の上昇圧力を和らげるも、ドル売りが本格化することは無く、ドル/ウォンは1,320ウォン付近で輸入企業による決済需要から買い支えられる展開を想定。今週も引き続き1,330ウォンを中心にレンジ相場が継続すると予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1320 ~ 1350	8.85 ~ 9.15	147.0 ~ 150.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 13日(火) 米 1月 CPI
- 14日(水) 欧 4Q GDP 改定値
- 15日(木) 日 12月 鉱工業指数 確報値
 - 米 2月 NY連銀製造業指数
 - 米 1月 鉱工業生産
 - 米 1月 小売売上高
 - 日 4Q GDP 速報値
- 16日(金) 米 2月 シガン大消費者マインド指数 速報値
 - 韓 1月 失業率
 - 米 1月 PPI
 - 米 1月 住宅着工件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。